

奈良教育大学 国際交流留学センター主催 シンポジウム
平成29年度学長裁量経費プロジェクト

教員養成大学における グローバル人材育成を考える

学校教育現場における多文化化や外国語教育・異文化理解教育の変化といった社会的背景を受けて、教員養成大学における「グローバル人材」のあり方とその養成に関する検討が教員養成大学にとって重要な課題となっています。そこで奈良教育大学では、昨年度に引き続き、シンポジウム「教員養成大学におけるグローバル人材を考える」を開催いたします。今年度は多文化社会における「ことば」をテーマに講演とワークショップを行います。

- 日 時 / 2017年 **12月9日(土)** 13:30~17:00 (受付開始13:00)
- 会 場 / 奈良教育大学 大会議室 (本部管理棟2階)
- 参加対象 / 本学学生・教職員・一般の方

参加料 無料

プログラム

[第一部] 講演

「やさしい日本語」と学校教育

京都外国語大学 森 篤嗣

「やさしい日本語」とは、語彙や文法項目を制限し、多くの非母語話者が理解できるように工夫した日本語です。「やさしい日本語」が目指すのは、外国人だけに日本語習得を押しつけない、寄り添いあう地域社会像であり、「日本語母語話者と非母語話者の歩み寄り」です。講演の前半では、こうした「やさしい日本語」の理念や背景についてお話します。ところで、「やさしい日本語」の理念そのものは、特別に新しい概念というわけではありません。「わかりやすく伝える」ということは、長年、学校教育や国語教育で取り組まれてきたことなのです。講演の後半では昭和27年使用開始以降の1,285冊の小学校教科書を調査した結果を例にしながら考えます。

講師紹介 森 篤嗣 (もり あつし)

京都外国語大学外国語学部日本語学科教授
専門分野は日本語学、国語科教育、日本語教育。著書は「授業を変えるコトバとワザー—小学校教師のコミュニケーション実践」(2013年、くろしお出版)、「にほんごこれだけ1&2」(2010/2011年、ココ出版、共編著)、「日本語教育文法のための多様なアプローチ」(2011年、ひつじ書房、共編著)、「やさしい日本語」は何を指すか：多文化共生社会を実現するために」(2013年、ココ出版、共編著)など多数。

[第二部] ワークショップ

インタビュー詩を創ろう

ファシリテーター / 横田和子 (目白大学)
和泉元千春 (本学国際交流留学センター)

「インタビュー詩」は、他者との相互インタビューを通して、対話と協働によって詩を作っていく活動です。他者理解や人の話を聴くこと、表現することのレッスンも兼ねています。本ワークショップでは、留学生を含む文化や背景の異なる人同士の対話を通して、他者との「あいだ」を味わい、ことばの力を感じる体験をしてみよう。

[お問い合わせ先] 奈良教育大学 国際交流留学センター

[参加申し込み方法] お名前・ご住所・ご所属を明記の上、下記アドレスまたはお電話かFAXにてお申し込みください。

E-mail / kokusai_ryugaku@nara-edu.ac.jp 電話・FAX / 0742-27-9177

[申し込み締め切り] 12月5日(火)

[後援] 奈良県教育委員会、奈良市教育委員会(申請中)